

平成24年度 第8回安城市定例教育委員会会議録

日 時 平成24年11月1日(木) 午後1時30分

場 所 安城市スポーツセンター 研修室

出席した委員 大見 宏 委員長

船尾恭代 委員

榊原ちさと 委員

本田吉則 教育長

出席した職員 太田直樹 教育振興部長

都築昭彦 生涯学習部長

岩月隆夫 生涯学習部次長兼生涯学習課長

加藤 勉 総務課長

神尾壽明 学校教育課長

杉浦邦彦 給食課長

早川雅己 スポーツ課長

加藤喜久 中央図書館長

杉浦講平 文化財課長

畑中有里 総務課庶務係

傍聴者 なし

開 会 午後1時32分

日 程

第 1 前回会議録の承認

平成24年9月27日開催の定例教育委員会会議録を承認

平成24年9月27日開催の臨時教育委員会会議録を承認

第 2 委員長、教育長等の報告

<委員長>

10月 4日 研究発表会(今池小学校)

10月 5日 安城選手権大会秋季競技会総合開会式

10月 9日 教育委員辞令交付式

10月15日 研究発表会(安城東部小学校)

10月25日 校長・教頭合同研修会

<教育長>

- 9月28日 市幹部会
現職教育訪問（明和小学校）
- 9月29日 少年少女発明クラブ 安城創意くふう展表彰式
- 9月30日 災害対策本部員会議
- 10月 1日 災害対策本部員会議
現職教育訪問（安城西部小学校）
- 10月 2日 愛知教育大学附属中学校研究発表会
中心市街地拠点施設計画説明会（桜井公民館）
- 10月 3日 市就学指導委員会
- 10月 4日 研究発表会（今池小学校）
中心市街地拠点施設計画説明会（西部公民館）
- 10月 5日 現職教育訪問（安祥中学校）
安城選手権大会秋季競技会総合開会式
- 10月 7日 安祥文化のさとまつり「歴史のひろば展」表彰式
- 10月 9日 現職教育訪問（桜井中学校）
教育委員辞令交付式
- 10月10日 現職教育訪問（東山中学校）
愛知教育大学附属三校教育懇談会（岡崎市）
- 10月11日 現職教育訪問（桜井小学校）
- 10月12日 現職教育訪問（安城北中学校）
- 10月13日 安城市医師会設立50周年記念式典
- 10月15日 研究発表会（安城東部小学校）
- 10月16日 現職教育訪問（安城西中学校）
安政会予算要望会
- 10月17日 茶臼山野外センター閉村あいさつ（根羽村）
- 10月18日 市臨時幹部会
県義務教育課訪問（さくの幼稚園）
- 10月20日 市制施行60周年記念事業安城こどもまつり開
会式
- 10月22日 新美南吉絵本大賞第2次審査会
- 10月23日 現職教育訪問（丈山小学校）

- 10月24日 現職教育訪問（錦町小学校）
- 10月25日 定例校長会並びに校長・教頭合同研修会
- 10月26日 教育センター所内会議
- 10月27日 第21回教育展開会セレモニー
- 10月28日 さくら学園学園祭
- 10月29日 現職教育訪問（桜町小学校）
- 10月30日 現職教育訪問（新田小学校）
- 10月31日 中心市街地拠点施設計画推進委員会
安城市ふれあい講演会

以上に出席しました。

第 3 議題

第17議案 安城市教育委員会表彰について

第17号議案について総務課長説明する。

大見委員長：パネルなので、また自由に自分たちで組み合わせて絵を作れるというものですね。

総務課長：そうです。

（全員異議なし承認）

第 4 報告事項

（1）平成24年度野外センター利用状況について

報告事項（1）について学校教育課長説明する。

榑原委員：野外センターの利用実績ですが、平成24年度は前年度比較306名増加ということですが、その内訳で一般利用の増加はどのぐらいの数なのですか。

学校教育課長：今年度の利用者数の306名の増加は、主に一般利用の増加です。児童数は昨年度より減っておりますので、一般利用が増えたということです。作手高原野外センターにつきましては今年の一般利用者数が854名とありますが、昨年度は438名でしたので、倍程度の一般利用の方がいらっしゃるということで、この増加が大きいと思います。

船尾委員：どうして増えたかというのは、こういう対策をしたからといったような何か理由がありますか。

スポーツ課長：作手と茶臼山の野外センターで交互に、市スポーツ課主催のファミリーキャンプを実施しています。参加者としては50名から60名程度ですが、一昨年パンフレットを新たに作ったことと、作手については安城から1時間強で行けるということで、利用が少しずつ伸びています。茶臼山については2時間半程度かかるものですから利用が伸びておりませんが、次年度は茶臼山でファミリーキャンプをやるので、一般市民の方にも存在を知っていただき、利用の増大に向けての取り組みをやっていきます。

大見委員長：片道2時間半ということですか。

スポーツ課長：茶臼山ですとそのぐらいかかります。

(2) 学校医等の解職及び委嘱について

報告事項(2)について学校教育課長説明する。

(質疑なし)

(3) 第32回安城市民大学の開催について

報告事項(3)について生涯学習部次長説明する。

榊原委員：販売方法で、はがきが復活したということで喜んでいる声を聞いておりますので嬉しく思います。並びに行くということができない人がたくさんみえるそうなので、ありがとうございます。

大見委員長：抽選は教育委員会の方で一気にやるのですか。

生涯学習部次長：抽選はこちらの方でやるしかないと思っています。

大見委員長：抽選は厳正にやっていただかないと、外れた人から後から苦情が来ると困りますので。そんなことはないと思いますが。

船尾委員：さんかく21・安城のときに抽選をやったのですが、かなりそのへんのマニュアルがちゃんとできていて厳正です。抽選は番号順でやるので、最後に整理する段階ではだれが出しているかはわかりませんが、それまではひたすら番号でやるので、こういう風にやるんだなと思いました。今回も同じようなやり方ですよ。

生涯学習部次長：ガラガラ抽選器でやります。ことのほか多く申込みがあった場合はガラガラでは難しい場合もありますが。同じ人が何枚も出される場合がありますので、その場合にだぶりがないようにしていきたいです。

船尾委員：同一世帯で名前を変えていたりだとか、住所はいっしょだけ

ど名前が違っていたりというのが結構あると思います。

生涯学習部次長：昔は全部往復はがきで申込みを受け付けていたのですが、やはりそういうことがあって満席にはならないという状況でした。

(4) 第7回愛知県市町村対抗駅伝競走大会について

報告事項(4)についてスポーツ課長説明する。

大見委員長：出場者の2名というのは、補欠と正選手ということですか。

スポーツ課長：各区間の選手は2名登録ということで、現在まだ補欠も正選手もありません。大会前々日に行われます監督会議で当日走る選手を最終的に決定して登録することになりますので、それまではどちらが補欠で正選手ということはありません。

大見委員長：市役所の人はどこ課の人ですか。

スポーツ課長：子ども課の若い人です。この前体力測定にも参加してもらいまして、シャトルランを99回ぐらいという満点の点数の人なので、相当持久力はあると思います。

大見委員長：監督はどなたが務められるのですか。

スポーツ課長：安城市陸上競技協会の藤井会長に例年恒例でやっていたいています。

大見委員長：去年は何位でしたか。

スポーツ課長：1時間41分19秒で16位でした。過去平成21年が最高で7位でした。コースは若干変わっていますが、そのときは1時間39分40秒でしたので、1時間30分台で入れば相当良い成績になるのではないかと思います。

教育長：他市が有力選手を入れるようになっていきますね。

スポーツ課長：他市は企業があつて実業団の選手がいますので、外国の選手がいるのですが、安城は陸上選手を持っている企業がないものですから、純粹に市民団体のみで構成していますので、そのへんが弱みといえは弱みです。

聞いているところでは、小学生で男子6区の三河安城小学校の松下空君が有望な選手で区間賞を取れるのではないかと伺っております。去年も女子の方で区間賞を取っていますので、距離は短いですがそういうこともあります。

大見委員長：がんばってもらいましょう。

(5) 市制60周年記念 第28回安城市民デンパーク駅伝大会について
報告事項(5)についてスポーツ課長説明する。

大見委員長：今までは陸上競技場で開会式でしたけど、今回はデンパークで開会式なのですね。

スポーツ課長：そうです。

(6) 新美南吉絵本大賞の全国公募結果について

報告事項(6)について中央図書館長、教育長説明する。

船尾委員：愛知教育大学附属岡崎中学校で147点の応募があるので、もう少し市内の中学校ががんばってくれたらよかったのではないかと思いますのですが、そういう余裕がないのでしょうか。

教育長：附属中学校については、たまたま副校長が来たときに、こういうのをやるので附属中学校の子も出したらいいのではと紹介したら、2年生の国語の授業とドッキングさせてやらせていただいたようですので、お礼を言いました。市内中学校がもう少しがんばればよかったですね。

船尾委員：市内中学校の応募が24点というのは寂しいですね。

教育長：よく言っておきます。

中央図書館長：中学校は応募数10点未満の資料掲載以外の学校もありますので、全部合わせると35点の応募をいただいたということでご理解いただきたいと思います。

教育長：審査の先生方も言っていたのですが、大人の部も子どもの部もレベルが非常に高いです。子どもの部も含めて多く出たからといって賞に入るということはなく非常に厳正な審査になっています。

大見委員長：今後の最終決定はいつごろでしょうか。

中央図書館長：審査はこれで終えまして、入賞者の方と調整をとっているところですので、次回の定例教育委員会の際に審査状況を報告させていただきたいと思います。

記者発表につきましては11月30日の定例記者会見で報道機関に発表ということで、新聞等に載ると思います。12月15日号の広報あんにょうに詳細を載せて、市民の方々にもお知らせをまいります。また、公募ガイドで全国発信させていただいたので、審査の結果

も載せていただくよう頼みます。2月号ですが、1月9日発売ですので、ここで対象者が載ります。1月19日に表彰式という段取りでおります。1月19日に審査員もやっていただいた黒井健さんの講演会を予定しています。また委員のみなさまにはご案内をさせていただきますのでよろしくお願ひします。

(7) 常世田良氏講演会の開催について

報告事項(7)について中央図書館長説明する。

(質疑なし)

(8) 市制60周年記念 企画展「桜井町の棒の手・馬の塔」の開催について

報告事項(8)について文化財課長説明する。

大見委員長：馬の塔というのは、馬を飾るのですか。

文化財課長：明治、大正にかけて、尾張、西三河を中心に馬の塔、お馬塔(おまんとう)を聞かれたことがあるかと思いますが、この中にはいくつかのものがあり、現在でも続いている高浜市などでは馬の塔を人が競り合うというのをやっており、安城においては桜井神社や大岡町で飾り馬が昭和10年代戦前まで行われていました。戦後もごく一部数回奉納されましたが、現在までは続かなかったというのが現状です。あと、馬を競争させる草競馬という形でのお馬塔が、以前ですと小川町や東端町などで行われていたという資料が残っています。

第 5 その他

な し

閉 会 午後2時24分